

| 科目分類 | 専門職の教育 | | | 開講学科 | 看護学科 |
|--|---|---------|----|------|-------|
| 科目番号 | 学年 | 配当セメスター | 区分 | 単位数 | 授業時間数 |
| 11023 | 2 | 後期 | 必修 | 2 | 30 |
| 授業科目名 (英文) | 保健医療福祉行政学 (Public health and social policy administration) | | | | |
| 担当教員名 | 大久保 豪 | | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | | |
| <p>1. 公的な医療保険や介護保険といった保健医療福祉制度の仕組みや課題を理解する。</p> <p>2. 人間のライフサイクルにあわせて組織されている保健医療福祉サービスの仕組みや課題を理解する。</p> <p>3. 保健医療福祉行政のマネジメントの観点から、計画と評価、またそれに関連した管理に必要な視点を習得する。</p> | | | | | |
| 準備学習等 | | | | | |
| <p>講義の前に、該当する教科書の個所を読んで、わからないところや疑問点を調べておくこと。(およそ1時間程度) 講義の後には、その回の配付資料をもとに、再度教科書をよみ返し、復習すること(およそ1時間程度)。その際、気になった点、理解できなかった点があればメモしておくこと(最終回のみ講義の前に、再度解説するため)</p> <p>第1回 序章 保健医療福祉行政のめざすもの【p2 から p16】</p> <p>1章 保健医療福祉制度の変遷 A 公衆衛生政策の基盤形成【p18 から p30】</p> <p>第2回 3章 B 2. 医療保険(医療財政)【p105 から p113】</p> <p>第3回 3章 B 1. 医療提供体制の概要【p95 から p105】</p> <p>第4回 3章 C 介護保険制度【p114 から p125】</p> <p>第5回 3章 D 1. 年金【p126 から p131】</p> <p>第6回 3章 D 2. 雇用保険と労働者災害補償保険【p131 から p133】</p> <p>第7回 3章 D 2. 雇用保険と労働者災害補償保険【p131 から p133】</p> <p>第8回 3章 D 3. 公的扶助(生活保護)【p134 から p136】</p> <p>第9回 3章 D 5. 高齢者福祉【p139 から p142】</p> <p>7. 成年後見制度と日常生活自立支援事業【p147 から p148】</p> <p>第10回 3章 4. 児童家庭福祉【p136 から p139】</p> <p>第11回 3章 B 2. 医療保険(医療財政)【p105 から p113】 特に p109~p113</p> <p>第12回 3章 D 6. 障害者福祉【p142 から p146】</p> <p>第13回 3章 D 6. 障害者福祉【p142 から p146】 特に p145</p> <p>第14回 5章 A. 地方公共団体の保健医療福祉計画【p176 から p185】</p> <p>B. 保健計画の策定プロセス【p186 から p203】</p> <p>第15回 理解が十分でない箇所を優先的に学習すること</p> | | | | | |
| 成績評価の方法 | <p>小テスト(第2回から講義冒頭に実施)</p> <p>定期試験</p> <p>なお、受講態度も評価に際して考慮します。</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| テキスト | 「標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 第4版」 (著者代表・藤内修二：医学書院) (ISBN 978-4-260-02772-4) |
| 参考図書 | 各回でテキストの該当部分と対応した資料を配布します。『厚生労働白書』(※)、『国民衛生の動向』(※)、『国民の福祉と介護の動向』(※)、『保険と年金の動向』(※)などが参考になります。最もよい学習の材料は、日々、報道される保健・医療・福祉の制度に関するニュースです。 |
| 備考 | 生活に密着した内容でもあるので、漫然と講義を聴くのではなく、自分自身や家族の生活と照らし合わせながら実践的な学問として学んでください。講義中はもちろん、前後の時間にも質問を受け付けます。また、本講義は、公衆衛生看護学、公衆衛生学や社会福祉学とも関連が深く、重なる内容も多いので、そこで学ぶことを関連付けながら学習すると効果的です。質問等は授業終了後、教室で受け付けます。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 |
| 授 業 計 画 | |
| <p>第1回 保健医療福祉に係わる行政制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政単位、行政制度の仕組みについて <p>第2回 医療保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民皆保険、各公的医療保険の仕組みなどについて <p>第3回 国民医療費、医療提供体制（病院、診療所、医師、看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民医療費、医療費適正化に向けた動き、各種医療提供体制について <p>第4回 介護保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の仕組み、サービスの概要について <p>第5回 年金保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金保険制度の仕組み、根本的な考え方について <p>第6回 労働者災害補償保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労災保険の仕組みと認定・支給状況について <p>第7回 雇用保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用保険の仕組みと支給状況について <p>第8回 生活保護制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度の仕組み、扶助の種類、生活困窮者自立支援制度について <p>第9回 高齢者福祉・成年後見制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療制度の仕組み、成年後見制度の仕組みについて <p>第10回 児童家庭福祉制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠出産に係わる助成、保育給付などについて <p>第11回 特定健診・特定保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・特定保健指導の仕組み、医療保険制度との関連について <p>第12回 障害者総合支援法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの提供体制、費用負担の仕組みについて <p>第13回 障害者雇用・就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援系のサービスおよび障害者雇用率制度について <p>第14回 保健医療福祉行政計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行政計画（医療計画、介護保険事業計画、障害福祉計画など）について <p>第15回 総合的にみた保健医療福祉行政学の解説</p> | |